

事業計画書

① 団体名	特定非営利活動法人こうのさと
② 事業名	竹林のスコレー、穂井田竹燈籠祭りプロジェクト
③ テーマ区分	<p><i>*いずれかにチェックし、指定テーマの場合は番号を記入</i></p> <input checked="" type="checkbox"/> 指定テーマ(番号:6) <input type="checkbox"/> 自由テーマ
④ 補助回数	<p><i>*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック</i></p> <input checked="" type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回目(経過措置) <input type="checkbox"/> 4回目(経過措置)
⑤ 現状及び課題	<p>当法人で、来春開校予定であるオルタナティブスクール「竹林のスコレー」が位置する倉敷市玉島陶の穂井田地区は、一般的な中山間地域同様、過疎化と高齢化が進んでいる。現在、穂井田小学校は全校生徒が44名であり、廃校になる可能性も高く、地域の方々もそれを懸念され、移住促進のためにも、まちづくりを進められている。オルタナティブスクールとして活用する古民家の周りは、放置された田畑や竹林が多く、耕作放棄地、荒地となっている。特に竹林は、強風や台風で竹が倒れ、道を塞ぐこともあり、土砂崩れの危険性もある。間伐が必要となっているが、高齢化もあり担い手不在の状況である。</p> <div style="text-align: center;"> <p>竹林の様子</p>  </div>
⑥ 事業目的	竹林の整備、竹資材の農業への活用と竹を用いた伝統行事の創生による地域の魅力向上
⑦ 事業内容	<p>事業項目1 竹林のスコレー、竹燈籠祭りプロジェクト</p> <p><i>※位置づけ(狙い)、内容、受益者(対象者)、実施地域、実施方法など</i> 倉敷市玉島の穂井田地区(陶・服部地域)にて開催。4月に開校予定のオルタナティブスクールの周辺にて、2,000本の竹燈籠を配置し、出店を募り竹燈籠祭りを開催する(令和5年11月予定)。祭りのための竹燈籠の制作というポジティブな動機付けで、竹林を間伐し竹害を防止する。また、若者や中心部に住む住民との交流を促すことで、穂井田地区の魅力を知ってもらう新たな観光資源とする。準備から開催、開催後までの一連の流れをまとめ報告書を作成して、同じような環境にある地域、活動団体の方々と共有する。(別添資料1参照)</p> <p>事業項目2 竹燈籠作り&竹細ワークショップの開催</p> <p>令和5年11月に予定する竹燈籠祭りを彩る竹燈籠や竹細工を作るワークショップを定期的で開催する。竹工芸の経験のある講師を招き、オルタナティブスクールに在籍する子ども、地域住民、市街地の方など、どなたでも参加できる形で開催。自身の作品を祭りで展示できることをモチベーションに繋げて行う。</p>

<p>⑦事業内容</p>	<p>事業項目3 竹チップ、竹炭農業用資材の活用と報告 竹燈籠に使用できない端材、使用後の竹燈籠は竹チップや竹炭として農業用に活用する。当法人で賃借しているオルタナティブスクール周辺の耕作放棄地を開墾して、そこに竹資材を投入、また提携農家に竹資材を共有し活用してもらう。</p> <p>*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応</p> <p>竹燈籠祭りが行えない場合は、ギャラリーにて展示会を開催、竹林にて入場制限もしくは無観客で行いPR動画などを作成して周知を図る。</p> <p>先進性、先駆性、独創性</p> <p>祭りに使用する竹燈籠を制作するというポジティブな動機付けで、中山間地域特有の竹害を防止するための間伐を行う。また、竹燈籠として使用した竹は、使用後農業用資材に転用して田畑に戻し、持続可能な農業と森林の管理を両立させる。また、地域の伝統行事として確立させることで、地域の活力を高め都市農村交流を促進できると考える。</p>
<p>⑧事業の条件及びアピールポイント</p>	<p>備中地域への波及効果</p> <p>準備から開催、その後の報告書をまとめることで、同環境にある備中地域と準備や開催方法などを共有し、他地域でも同じようなお祭りを開催できるようにマニュアル化できる。中山間地域の竹害を防ぎ、地域住民が力を合わせて行える祭りを開催することで、地域の活力を生み、都市農村交流を促進できる。</p> <p>県民局との協働による相乗効果</p> <p>他地域で今までに開催されたお祭り、地域行事の主催団体を紹介していただきノウハウを教授してもらう。竹燈籠祭り終了後の報告書を関連する団体に共有していただき、他地域への波及を目指す。</p> <p>その他、団体の持つ専門性やノウハウ等</p> <p>当法人では、対象地域で4月からオルタナティブスクールを開校予定であり、子どもたちの積極的な参加が見込まれると共に、定期的に行っている畑活やマルシェ、環境整備などのイベントにボランティアの参加もあり、高校生や大学生など若者の参加も多く見込まれる。また、野菜のプレゼント事業で、妊産婦、子育て世帯との交流が多く、自然環境の良い中山間地域への移住も推奨できる。</p> <p>オルタナティブスクールのイメージ</p>  <p>The illustration shows a traditional Japanese building with a tiled roof. In the foreground, a group of children and adults are engaged in various activities: some are planting small plants in a garden, others are playing with a ball, and some are interacting with chickens and a white dog. The scene is set in a lush green environment with trees in the background. The text '竹林の スコレー' (Bamboo Forest's Scole) is written in a stylized font at the top of the illustration.</p>
<p>⑨今年度 期待される成果 ・効果 (短期アウトカム)</p>	<p>県民(対象者)</p> <p>穂井田地区の新たな祭りの開催、竹林の間伐による竹害の防止、竹資材の有効活用、環境負荷をかけない持続可能な農業と森林保全を両立する取り組みのモデルケースを構築し、他地域へ波及させる。</p> <p>団体</p> <p>オルタナティブスクールの魅力の向上と地域住民とのより良い関係作り、団体の周知がより広まる。</p> <p>備中地域</p> <p>竹の間伐や地域活性化の1つの方法として該当地域に周知される。</p>

<p>⑩将来的に期待される成果・効果 (中・長期アウトカム)</p>	<p>県民(対象者) 中山間地域の魅力を味わえる恒例行事が増えて、都市と郊外の住民の交流がより盛んになり、子育て世帯を中心に中山間地域に移住を希望する人が増える。</p> <p>団体 持続可能な農業や環境保全と地域活性化に取り組んでいる団体としてブランディングが行え、オルタナティブスクールの入学を希望する世帯が増える。</p> <p>備中地域 備中の他地域でも竹燈籠祭りが開催され竹害の防止と地域活性化が図られる。</p>																																	
<p>⑪今年度の成果目標と想定している評価指標</p>	<p>成果目標・地域の竹害を予防し、地域の景観の美化を図る。 評価指標:間伐した竹林の面積、竹の本数、作業前後の景観の写真を撮影。玉島陶、服部地域の荒れている竹林を減らし、農業や交通の妨げにならないように管理するとともに、地域の景観を改善する。</p> <p>成果目標1地域の竹害を予防し、地域の景観の美化を図る。 間伐した竹林の面積、竹の本数、景観の作業前後の写真を撮影。玉島陶、服部地域の荒れている竹林を減らし、農業や交通の妨げにならないように管理するとともに、地域の景観を改善する。</p> <table border="1" data-bbox="432 701 1399 815"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備された竹林の面積</td> <td>なし</td> <td>1ha</td> <td>2ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>成果目標2地域活性化、都市農村交流の促進。 竹燈籠祭りの来場者数を測定する。新たな祭りを企画、実施することで地域の連帯を図り地域内の人的交流の活性化、都市農村交流を促進する。また、毎年の行事として定着するように来年度の開催に向けても、企画、広報を行っていく。</p> <table border="1" data-bbox="432 1025 1399 1140"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>0人</td> <td>述べ1,000人</td> <td>述べ2,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>成果目標3 伝統行事として継続する。 年度ごとにより多くの協力者を巻き込み竹燈籠の制作本数を増やしていく。</p> <table border="1" data-bbox="432 1283 1399 1397"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標・測定方法</th> <th colspan="3">数値目標</th> </tr> <tr> <th>現状</th> <th>今年度</th> <th>(参考)6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>祭りの竹燈籠の本数</td> <td>0本</td> <td>2,000本</td> <td>4,000本</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)6年度	整備された竹林の面積	なし	1ha	2ha	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)6年度	来場者数	0人	述べ1,000人	述べ2,000人	評価指標・測定方法	数値目標			現状	今年度	(参考)6年度	祭りの竹燈籠の本数	0本	2,000本	4,000本
評価指標・測定方法	数値目標																																	
	現状	今年度	(参考)6年度																															
整備された竹林の面積	なし	1ha	2ha																															
評価指標・測定方法	数値目標																																	
	現状	今年度	(参考)6年度																															
来場者数	0人	述べ1,000人	述べ2,000人																															
評価指標・測定方法	数値目標																																	
	現状	今年度	(参考)6年度																															
祭りの竹燈籠の本数	0本	2,000本	4,000本																															
<p>⑫中・長期的な成果目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹燈籠祭りの開催回数 ・単年度の竹燈籠の制作本数と祭りの来場者数の増加 ・他地域での開催延べ回数 																																	
<p>⑬事業展開の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹燈籠ワークショップで作成した芸術的な竹燈籠の展示後の販売。 ・竹燈籠ワークショップの運営の継続と収益化。 ・竹細工の竹工芸品のバリエーション、商品を増やして物販を促進。 																																	
<p>⑭想定される役割分担</p>	<p>団体 企画、実施、広報、マーケティング、ブランディング</p> <p>県民局 広報、企画の協力。各地の地域おこし団体の紹介、交流機会の設置、イベント報告書の他地域への共有。</p> <p>その他の連携・協力団体 (組織・団体名:)</p> <p>NPO法人彩:耕作放棄地の開墾、竹の間伐、竹燈籠制作業務の補助。 玉島陶・服部地域まちづくり協議会:後援、竹燈籠祭りの準備、運営協力。 中島農園:総社市で減農薬、減肥料で桃の栽培をされている農園、竹資材の農業転用にて協力。 そが自然農園:倉敷市にて農薬化学肥料不使用で農業を始めた新規就農者、環境負荷をかけない農法において竹資材の使用を希望している。 穂井田小学校:竹燈籠の制作において協力を依頼する。 くらしき作陽大学:竹燈籠の制作、祭り運営において協力を依頼する。 倉敷芸術科学大学:竹燈籠の制作、祭り運営において協力を依頼する。</p>																																	

<記入上の注意事項>

- 1 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 2 「④補助回数」欄の3回目及び4回目は、経過措置規定を適用した上で、令和2年度事業に採択された事業を令和3年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 3 「⑤現状と課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 4 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿(社会、経済、生活、環境等)について、「⑤現状と課題」、受益者(対象者)等を踏まえて記入してください。
- 5 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ(狙い)とともに、内容、受益者(対象者)、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応(代替案の検討、事業縮小、事業中止等)についても併せて記入してください。なお、事業項目数は適宜追加いただいて構いません。
- 6 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性と協働による相乗効果に関すること、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 7 「⑨今年度に期待される成果・効果」欄は、事業実施により得られる今年度の利益や変化等について記入し、「⑩将来的に期待される成果・効果」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化等について記入してください。
- 8 「⑪今年度の成果目標と想定している評価指標」欄は、今年度事業で目指すところ(短期の成果目標)を3つ程度記入し、想定している評価指標(事業価値や目標に対する達成度等を判断するための指標)を記入してください。なお、一次審査を通過した場合には、県民局の事業担当課と協議した上で、具体的な数値目標等を設定していただきます。
- 9 「⑫中・長期的な成果目標」欄は、事業を継続、段階的に拡充するなどし、中・長期的に目指すところ(中長期の成果目標)について、具体的に記入してください。
- 10 「⑬事業展開の予定」欄は、「⑥事業目的」や「⑫中・長期的な成果目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 11 「⑭想定される役割分担」欄は、提案団体が果たそうとする役割、備中県民局やその他の連携・協力団体に期待する役割を「⑧事業の条件、アピールポイント」を踏まえ、それぞれ具体的に記入してください。
- 12 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
2023 年 4 月	・玉島陶、服部まちづくり協議会にて、企画共有とスケジュール管理ミーティング	倉敷市玉島	参加者 20 名
2023 年 4 月	・オルタナティブスクールで筍堀体験などを通じて竹について学ぶ、間伐も実施	倉敷市玉島	
2023 年 4 月	・穂井田小学校、くらしき作陽大学、倉敷芸術科学大学とミーティング。年間ワークショップスケジュールを共有。		
2023 年 5 月	・竹燈籠、竹細工作りの初回ワークショップを開催、 ・竹林の間伐も実施。	倉敷市玉島	参加者 20 名
2023 年 7 月	・竹燈籠、竹細工作りの 2 回目ワークショップを開催	倉敷市玉島	参加者 20 名
2023 年 9 月	・11 月の竹燈籠祭りについて広報開始 ・玉島陶、服部まちづくり協議会にて開催前ミーティング。火災の予防、発生時の対応について担当者と協議。 ・竹燈籠、竹細工作りの 3 回目ワークショップを開催、	備中地域 倉敷市玉島 倉敷市玉島	
2023 年 10 月	・竹燈籠、竹細工作りの 4 回目ワークショップを開催	倉敷市玉島	参加者 20 名
2023 年 11 月	・竹燈籠、竹細工作りの 5 回目ワークショップを開催 ・2023 年 11 月 25 日(土)、26 日(日)竹林のスコレー、竹燈籠祭りを開催	倉敷市玉島 倉敷市玉島	参加者 20 名 参加者 20 名 1,000 人の来場者 (2 日間)
2023 年 1 月	・炭焼きワークショップの開催	倉敷市玉島	参加者 20 名
2024 年 1 月	・竹燈籠祭りの実施と竹燈籠と端材の農業資材転用に関する報告書を作成		
2024 年 2 月	・備中、中山間地域の地域振興団体へ報告書を配信、共有。	備中地域	

<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください(例:〇〇市文化センター、△△市内)。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。